



近年、下北沢のまちは、若者や外国人をはじめとする観光地としての魅力が高まる一方で、駅前エリアをはじめ、周辺住宅地においても、ごみの投棄や路上喫煙などが問題となっております。これまで、町会や商店街をはじめとした、地域のボランティアなどによる清掃や防犯活動を実施してきておりますが、近い将来、まちの担い手不足が懸念されております。この度、「エリアマネジメント」による、まちづくり活動の持続化や地域課題の解決に向けた取り組みを目指して、地元下北沢における良好な環境や地域の価値を維持・向上に取り組んでいきたいと考えております。



概要説明 エリアビジョン（たたき台）の概要を説明



意見交換 各グループで熱心な意見交換が行われました。



発表 模造紙にまとめた内容を発表・共有しました。

参加者の声

長年まちづくりに携わってきたが、安心して次世代にバトンタッチが出来そう。



北沢2丁目南町会
レジェンド・吉田会長

発行：下北沢商店連合会（街づくり委員会）

AREA Vision Workshop

2022/11/14 (THU) 19:00~21:00

シモキタエリマネ設立準備会 通信

意見交換ワークショップの開催レポート



【準備号】

下北沢駅周辺エリアマネジメントに向け、下北沢商店連合会（街づくり委員会）が作成した「エリアビジョン（たたき台）」に関する意見交換ワークショップを開催しました。参加者28名を4グループに分け、目標や活動テーマについて様々な意見やアイデアが出されました。その内容や当日の様子を報告します。

意見交換ワークショップ 《令和4年度》

開催日時 11月14日（月）19:00~21:00

開催場所 北沢タウンホール4階 活動フロア

参加者 28名
（下北沢商店連合会、北沢2丁目協和会、北沢2丁目南町会、昭和信用金庫、小田急電鉄株式会社、京王電鉄株式会社、株式会社アイラブ）



下北沢 エリアビジョン

下北沢が目指す将来のビジョンについて意見交換を行いました。

エリアビジョン

歩いて 楽しい 快適なまち シモキタ

考え方について

- ・ビジョンと活動イメージのリンク・明るいイメージ
- ・具体的なイメージ・下北沢の文化を表現したい
- ・シンプルなイメージ・シモキタらしいメッセージ
- ・〇〇に特化した街に（古着、カレー、演劇）

ビジョン・キーワード

- ・（遊んで）観て、聞いて（演劇・映画・ライブ）
- ・住み続けたい・人にやさしい・安全安心・多様性
- ・歩きやすい（ウォークアブル）・車を入れない街
- ・ごみのない・ブームから文化へ・新たな発見
- ・歩道と車道が一体（ex.川崎チネチッタ）
- ・喜多歩楽（キタブラ）・シモキタLOVE

イメージからビジョンへ

- ・つながり（人と人とのつながり、想いのつながり）
- ・まちの関係者が仲が良い・面倒くさい街（良い意味で）
- ・街の変化（空が広くなった）・懐が深い
- ・脈々と受け継がれるまちづくりの想い（今も昔も）
- ・来街者は「〇〇を目的に訪れる」＝コアな街、偏愛（ex.アニメの街「秋葉原」）
- ・シモキタの「昼の顔」「夜の顔」をとらえる

実現に向けた 活動イメージ

ビジョンを実現するための具体的な施策について、3つの活動方針を中心に活動アイディアの意見交換を行いました。

ごみ問題の事業化による解決

ごみ箱の設置による「ごみ箱のあるまち」づくり
ごみ箱広告による企業との連携（スポンサーシップ）
ごみ箱アートラッピングによる芸術支援

エリア内の既存清掃活動との連携

太陽光発電によるスマートごみ箱と企業スポンサーシップ事例（表参道）
ごみ箱側面を利用したアート支援（ポートランド）



公共空間における賑わい創出

各商店街の個性を生かした通りの魅力づくり
駅前公共空間におけるイベントの調整・実施

エリア内の既存活動団体との連携

下北沢駅前広場におけるイベント活用イメージ（世田谷区ホームページより）



※イベント時活用イメージ

下北沢『路地文化』継承と治安の両立

路地のヒューマンスケールによる魅力・快適性の向上

路地空間の治安維持（防犯）

路地や狭小未利用地の活用

アートや照明による路地における治安維持の工夫（上：日ノ出町 下：神楽坂）
現状の下北沢路地空間（歩車共存の在り方を今後検証）



- ・ごみのない街
- ・ごみ箱を多く設置
- ・ごみ集めると儲かる仕組み
- ・ごみを集めて景品・ポイント交換
- ・各店舗にごみ箱設置
- ・たばこのポイ捨て・街が汚い
- ・まずは道路を清潔に

- ・イベントルールが必要（使用料・エリア・時間帯・方法）
- ・ホコ天（時間規制）
- ・加盟店と非加盟店の区別
- ・高齢者向けイベント・まちの文化祭
- ・人と人が交流できるイベント
- ・雨でも楽しめる街

- ・路地イベント
- ・住宅地への配慮が必要（時間帯）
- ・路地の治安
- ・路地（通り）にネーミング
- ・路上パフォーマンス、ファッション
- ・新しい路地づくり（アクセス道路みたいな）

参加者 コメント

ワークショップ参加者を代表してコメント頂きました。



地域に根差した環境づくりを

下北沢に来街した人がまた遊びに来たい、住みたいと思えるまちにしていきたい。まちに根差したものが生まれる環境を作っていきたい。

地域に広がる輪

エリマネジメンの取組みがもっと広がって地域とつながっていければいいと感じた。



小田急電鉄 五十嵐課長

民度（モラル）の高いまちに

民度（モラル）の高いまちにしていきたい。路上喫煙やごみを捨てない、させない、まちの雰囲気づくりが大事だと思う。



下北沢東会 金子会長



昭和信用金庫 葛西本店長

多世代に愛される下北沢

街並みが変わり、若者の街だった下北沢が、家族連れで訪れる人も見かけるようになった。多世代の人に愛される下北沢になって欲しい。

自分事化にするきっかけに

下北沢に関わりを持つ人達が、エリマネを通じて、まちづくりを自ら考えて、行動していく、ひとつのきっかけになればいいなと思った。



京王電鉄 角田実験区長

その他の活動アイディア・ご意見

3つの活動イメージのほかにも、多様なアイディアやご意見を頂きました。

現状の課題

- ・駅前が暗い
- ・治安が悪い
- ・休憩スペースが不足（ベンチ）

駐車・駐輪の課題

- ・駐車場が足りない
- ・違法駐輪の問題
- ・バイク駐車が少なくない

まち回遊型イベント

- ・フォトロゲイニング（まち歩きスポーツ）
- ・まち探検イベント（ドラゴンボール探しみたいなわくわく感）

課題解決型イベント

- ・飲食店フードロス作戦
- ・ごみ集めゲーム

空地・スペース活用

- ・駐車場の活用（ex.AMは荷捌きスペース、PMイベントスペース）
- ・路地の活用

交通ルール

- ・車を入れない
- ・駅前には電気自動車のみ
- ・自動運転

人材発掘

- ・公認性の路上ライブ
- ・お店とマッチング（音楽・アート）

情報発信・受信

- ・情報の基地が必要
- ・情報の集約化
- ・積極的な発信

稼ぐ方法

- ・広告マネタイズ
- ・インスタ映え
- ・アートスポット
- ・シェアモビリティ

その他

- ・各々のランドマークの探索
- ・まちの魅力は観光資源